



QBic

スプリングコース 2013

(独)理化学研究所・生命システム研究センター(理研QBic)



大学生・大学院生のための 生命動態システム科学研究最前線



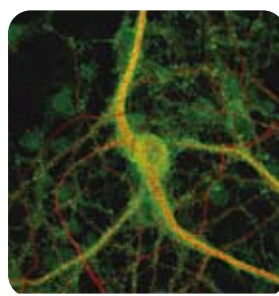
M. Ueda



T. Watanabe



T. Jin



T. Yanagida



C. Furusawa



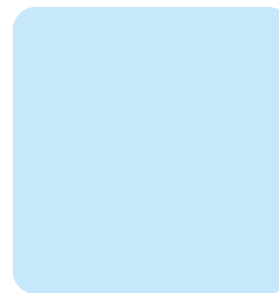
S. Onami



T. Masujima



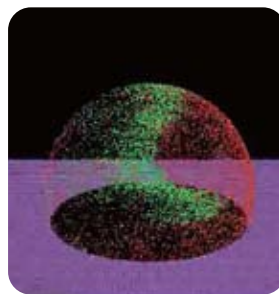
Y. Tanaka



H. Ueda



Y. Okada



K. Takahashi



Y. Shimizu

プログラム

1) 講義コース

募集人数:80名程度

3月12日(火)～3月13日(水)

これからの生命科学で活躍したい大学生・修士学生に向けた
レクチャーコースです。

2) 講義+実習コース

募集人数:20名程度

3月12日(火)～3月15日(金)

上記の講義に加え、12テーマから1つを選択し、
配属研究室における研究活動を体験していただきます。

※受け入れ人数に限りがございますため、事前に選考を行います

本スプリングコースに先立ちまして、連携研究機関である
大阪大学大学院・生命機能研究科が「春の学校」を開催し
ています(3月11日(月)～3月12日(火))。

ご興味のある方は下記HPをご覧ください。

<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/>

日程

2013年3月12日(火)～15日(金)

場所

【講義】大阪大学吹田キャンパス

【実習】大阪大学バイオ関連多目的研究施設(OLABB)

または 理化学研究所・神戸研究所

参加対象

生命科学研究に関心のある大学生および修士学生

参加費

無料(実習コース参加者には旅費・宿泊費を当所が負担します)

応募締切

2013年1月24日(木)(講義+実習コース)

2月17日(日)(講義コース)

詳細は下記HPをご覧ください!

http://www.qbic.riken.jp/spring_course2013/

QBiC スプリングコース2013

2013年3月12日(火)～15日(金)

近年、生化学、分子生物学、そして構造生物学などの進歩により生命科学は飛躍的に進展しています。これまでの研究は生命を構成する要素(分子)に関する研究が中心でしたが、生命はこれらの分子が時空間的に複雑に関係しあって構成する「生命動態システム」であり、生命を真に理解するためにはこの生命動態システムを理解する必要があります。

生命システム研究センター(QBiC)では、“細胞まるごとモデリング”を中心テーマとして細胞をシステム科学することを目指します。細胞は膨大な数の分子がネットワークを形成して相互作用する超複雑な生命システムです。それをまるごとモデリングするために、計測、計算とモデル化、そして細胞機能の再構成のための最先端技術を開発し、これらを融合して細胞システムの動態に迫ります。



センター長 柳田敏雄

最先端の生命科学に触れることの出来る本スプリングコースに是非ご参加下さい。

■プログラム

	3/12(火)	3/13(水)	3/14(木)	3/15(金)
AM		講義・ラボ紹介 阪大・吹田キャンパス	ラボ配属・実習 OLABB or 理研神戸	実習 OLABB or 理研神戸
PM	講義・ラボ紹介 阪大・吹田キャンパス	講義・ラボ紹介 阪大・吹田キャンパス	実習 OLABB or 理研神戸	実習・研究発表会 OLABB or 理研神戸
夜	意見交換会			

※スケジュールやプログラム内容は変更の可能性があります。HPIにて随時ご確認ください。

※OLABB: 大阪大学バイオ関連多目的研究施設

■実習内容

研究テーマ	配属研究室(研究室主宰者)
1分子計測を体験する	細胞動態計測研究グループ(柳田敏雄)
全反射蛍光顕微鏡を用いた細胞内1分子イメージング解析	細胞シグナル動態研究グループ(上田昌宏)
生物顕微鏡を設計し構築し、観察する	先端バイオイメージング研究チーム(渡邊朋信)
癌細胞を蛍光イメージングするためのナノバイオプローブの作製	ナノバイオプローブ研究チーム(神隆)
細胞変化の瞬間、分子群のうごめきをすぐ追跡	一細胞質量分析研究チーム(升島努)
多細胞生物の発生動態を4次元顕微鏡で観察し解析する	発生動態研究チーム(大浪修一)
生きた神経細胞を分子解像度で観察する	細胞極性統御研究チーム(岡田康志)
細胞内分子ダイナミクスのシミュレーション	生化学シミュレーション研究チーム(高橋恒一)
進化の軌跡を実験室で解析する	多階層生命動態研究チーム(古澤力)
遺伝子を設計し合成する	合成生物学研究グループ(上田泰己)
試験管内で遺伝子を発現させる	無細胞タンパク質合成研究ユニット(清水義宏)
マイクロ・ナノ微細流路を加工した「マイクロチップ」を作製する	集積バイオデバイス研究ユニット(田中陽)

■応募方法

氏名、大学・学部名、学年、住所、電話番号、メールアドレス(携帯アドレス不可)、希望コース・希望研究テーマ(配属研究室)、志望動機(400字、講義+実習コースのみ)を、1/24(木)(講義+実習コース)、2/17(日)(講義コース)までにウェブ上でご登録ください。講義+実習コースの選考結果は1/31(木)までにお知らせいたします。
http://www.qbic.riken.jp/spring_course2013/

■アクセス 下記をご参照下さい

(講義)大阪大学吹田キャンパス
<http://www.fbs.osaka-u.ac.jp/jpn/general/access.php>

(実習)大阪大学バイオ関連多目的研究施設(OLABB)
および 理化学研究所・神戸研究所
<http://www.qbic.riken.jp/japanese/overview/access.html>

■旅費・宿泊費について

実習参加者には旅費・宿泊費(実費)を支給いたします。
遠方の方には宿泊施設をご案内いたします。

■共催(予定)

大阪大学大学院 生命機能研究科
文部科学省博士課程教育リーディングプログラム【複合領域型(情報)】
大阪大学未来戦略機構第四部門「ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム」
脳情報通信融合研究センター(CiNet)